

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	広報クオリティ確保に向けた取組みについて（各所属への助言）
日 時	平成31年4月17日（水曜）9時15分～11時15分
場 所	大阪市役所本庁舎7階市会第6委員会室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与 (職員等)： 各区・局室 広聴広報幹事
論 点	・伝える広報から伝わる広報へ
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションとは他者との対話。目に見えない部分もありイメージーションを働かせてコミュニケーションをとる。また、場所と時間に合わせて最適化する必要がある。自分と相手方の想像を結びつけることが、行動につながる。</li> <li>・ターゲットについては、統計上のかたまりとして捉えがち。一人ひとりが集まったの全体なので、まず一人の気持ちを想像するところから始めるべき。</li> <li>・送り手目線、一方向の「伝える」からユーザー目線、双方向の「伝わる」へ。</li> </ul>
結 論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザーの気持ちになって伝達すべき情報を翻訳することで共感や行動が生まれるということ意識して広報を行うべき。</li> </ul>
説明等資料	
備 考	
関係所属 ( 部 課 )	政策企画室市民情報部広報担当